

(仮称) 百舌鳥・古市古墳群を活用した地域活性化ビジョン (素案) の考え方

策定の目的と位置付け

【目的】

大阪府、堺市、羽曳野市及び藤井寺市は、世界文化遺産登録をめざし、古墳群の保存・継承に向けた検討や、情報発信・魅力創出に取り組んでいる。この機に、百舌鳥・古市古墳群を活かした地域活性化に向け、行政、地元住民、民間事業者、NPO等が取り組む目標や方向性を共有し、各々が主体的に取り組むことをめざす。

【位置づけ】

府及び3市の総合計画・まちづくり計画と整合を図る。

百舌鳥・古市古墳群を取り巻く状況

【歴史的背景】

古墳時代：巨大古墳が集中して築造
 飛鳥～奈良時代：権威や権力のシンボルが古墳から寺院へ。
 平安～室町時代：古墳の濠が溜池に使用され始め、城や砦としても利用
 江戸時代：古墳の多くが村の共有財産として薪炭利用
 明治以降：巨大古墳の多くは国が管理

【古墳群の立地と土地利用の概要】

古墳群周辺は主に住宅地利用（幹線道路・駅周辺は商業利用）
 大規模緑地（百舌鳥）や農地（古市）が点在

【社会的背景】

人口：各市総じて少子高齢化・世帯の細分化が進行
 交通：大阪都心からの鉄道アクセスが良好（40分程度）
 阪神高速や西名阪のインターチェンジがあり、広域アクセスも良好
 産業：百舌鳥・古市古墳群をはじめ、近隣に歴史的文化遺産が多数
 地場の農産物から生まれた特産品や名品も多い



堺市（堺のめぐみ）



羽曳野市（河内ワイン館）



藤井寺市（葛井寺）

【活性化に向けた地域の現状整理】

- 豊かな地域資源
- 良好な交通アクセス
- 少子高齢化の進行
- 地域の結びつきの希薄化
- 個性豊かな空間の減少

将来像と基本方針・施策の分類

【将来像】

いにしえから現代、そして未来へ

世界に誇る百舌鳥・古市古墳群とともに輝くまち

古墳群の比類のない価値や魅力を守り活かすことで
 “都市空間”、“地域魅力”、“人”が輝くまち、
 “世界から注目される輝くまち”
 をめざす

【基本方針】

『古墳群と連なる』
 緑や水のうるおいの
 あるまちの形成

『古墳群に親しむ』
 快適で人にやさしい
 まちづくりの推進

『古墳群を楽しむ』
 新たな魅力と
 にぎわいの創出

【施策の分類】

①保存管理

守る
育てる

・周囲の環境と調和した古墳の保全・管理
 ・古墳学習

②景観形成

活かす

・古墳周辺の景観への配慮
 ・古墳と調和したまちなみ誘導

③みどりの充実

保つ

・農地・ため池・山ろくの景観保全

増やす

・道路・公園などの公共用地、民有地の緑化

④受入体制の整備

導く
迎える

・多様な周遊手段、アクセスルート、駅舎・駅周辺の整備
 ・便益施設（駐車場・トイレ・休憩所）の整備・充実
 ・観光案内所の充実

⑤案内の充実

もてなす

・ガイダンス機能の充実
 ・ボランティアガイドの育成・充実
 ・多様な情報発信ツールによる案内の充実

⑥情報発信

広める

・古墳群と地域魅力の発信
 ・ブランドイメージの確立

⑦誘客の展開

惹きつける

・地域協働イベントの開催
 ・何度も訪れたいくなる仕掛けづくり

⑧連携の強化

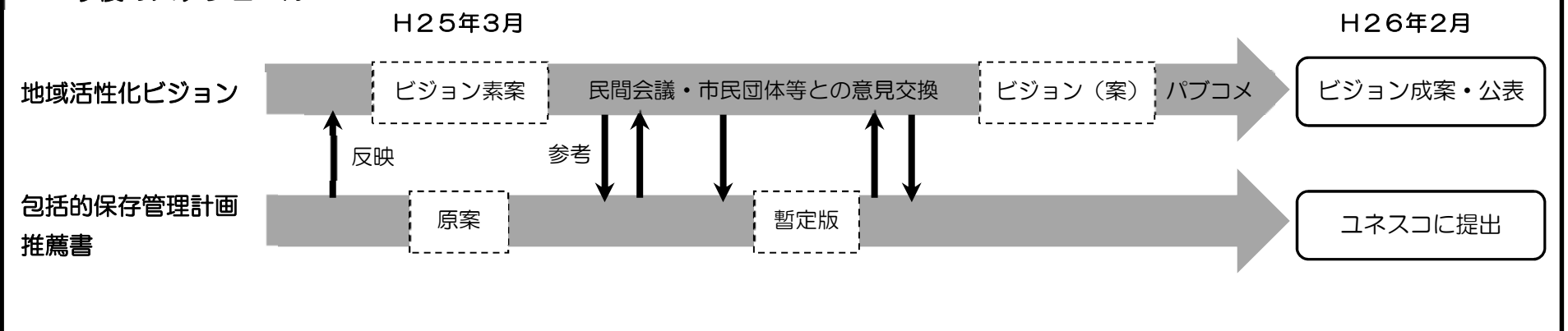
みがく

・地域特産品や観光商品の開発

繋げる

・周辺の歴史文化資産との連携
 ・他の世界遺産との連携

今後のスケジュール



【対象範囲・航空写真】

